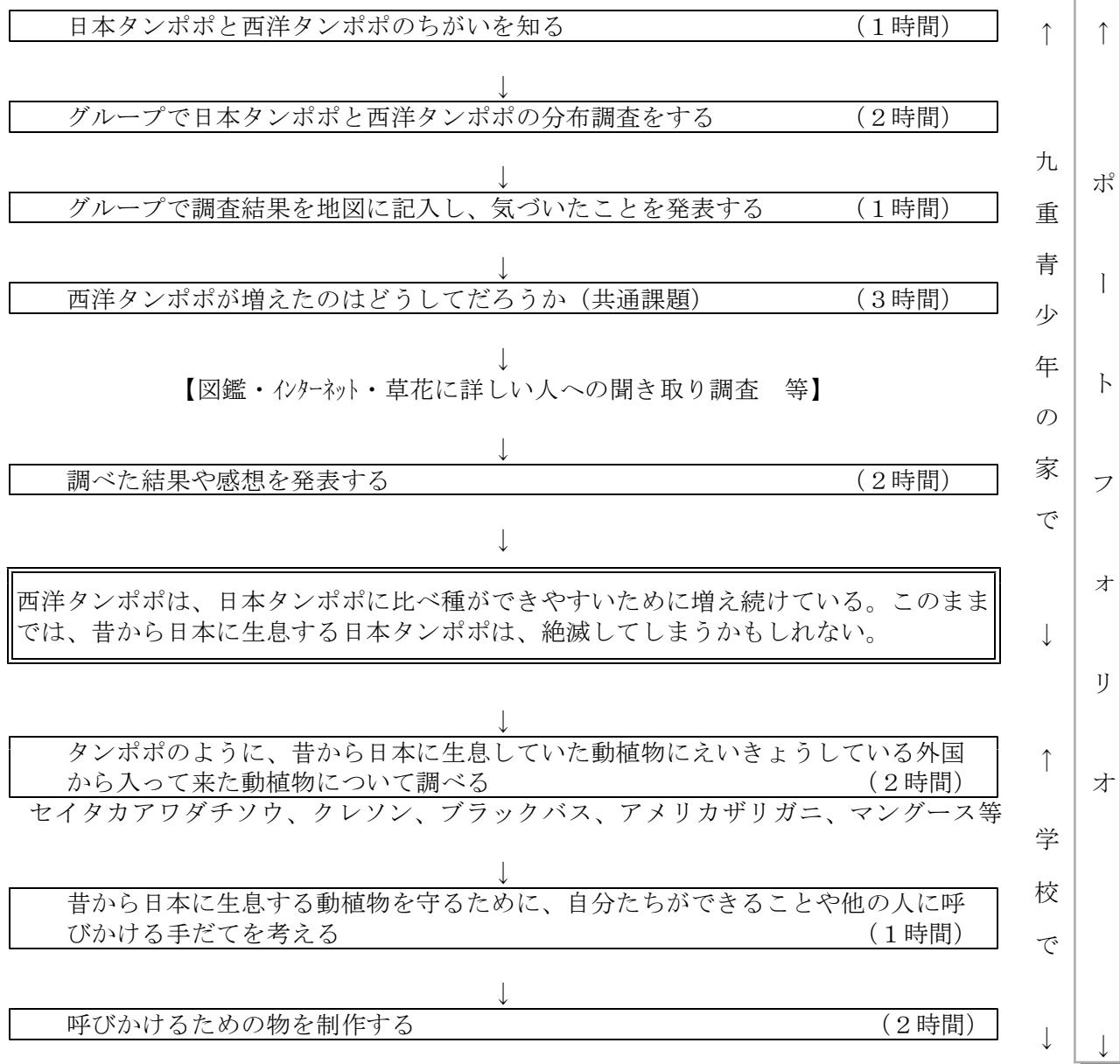


春の活動例『タンポポを題材にして』（対象：小学校中・高学年向き）

1. ねらい 外国からの動植物が増え昔から日本に生息する動植物が絶滅する危険があることを日本タンポポと西洋タンポポの分布について調べることから、とらえることができる。

2. 構想図 （全14時間） <九重青少年の家での活動 9時間>



3. 期待する変容の姿

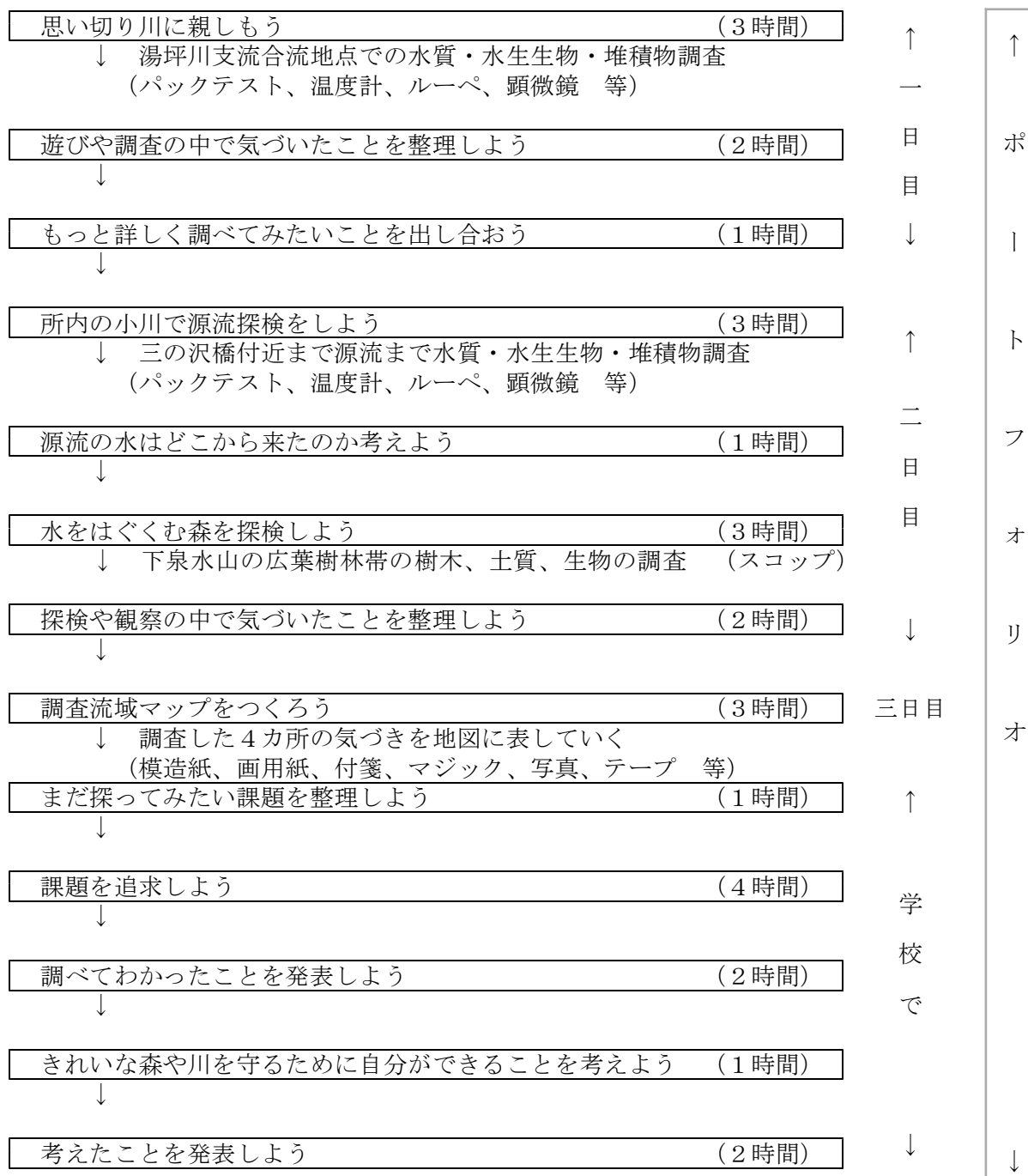
外国から入ってきた動植物が、昔から日本に生息していた動植物へと影響していることに関して、感じたこと学んだことをふりかえり、自然環境を守るために自分ができることや今後も探っていきたいことを考え、解決に向けて取り組もうとする。

日常生活の中で環境問題を自分のこととしてとらえ、自ら課題を見つけ、その課題を積極的に探求していこうとする。

夏の活動例『川の水を題材にして』（対象：小学校高学年向き）

1. **ねらい** 川の水の変化を、各地で水生生物・水質調査をおこなったり、水をはぐくむ森林を探検したりする体験をとおして学習するとともに、自然に親しみながら進んで環境を守っていかうとする。

2. **構想図** （全28時間）＜九重青少年の家での活動 2泊3日 18時間＞



3. 期待する変容の姿

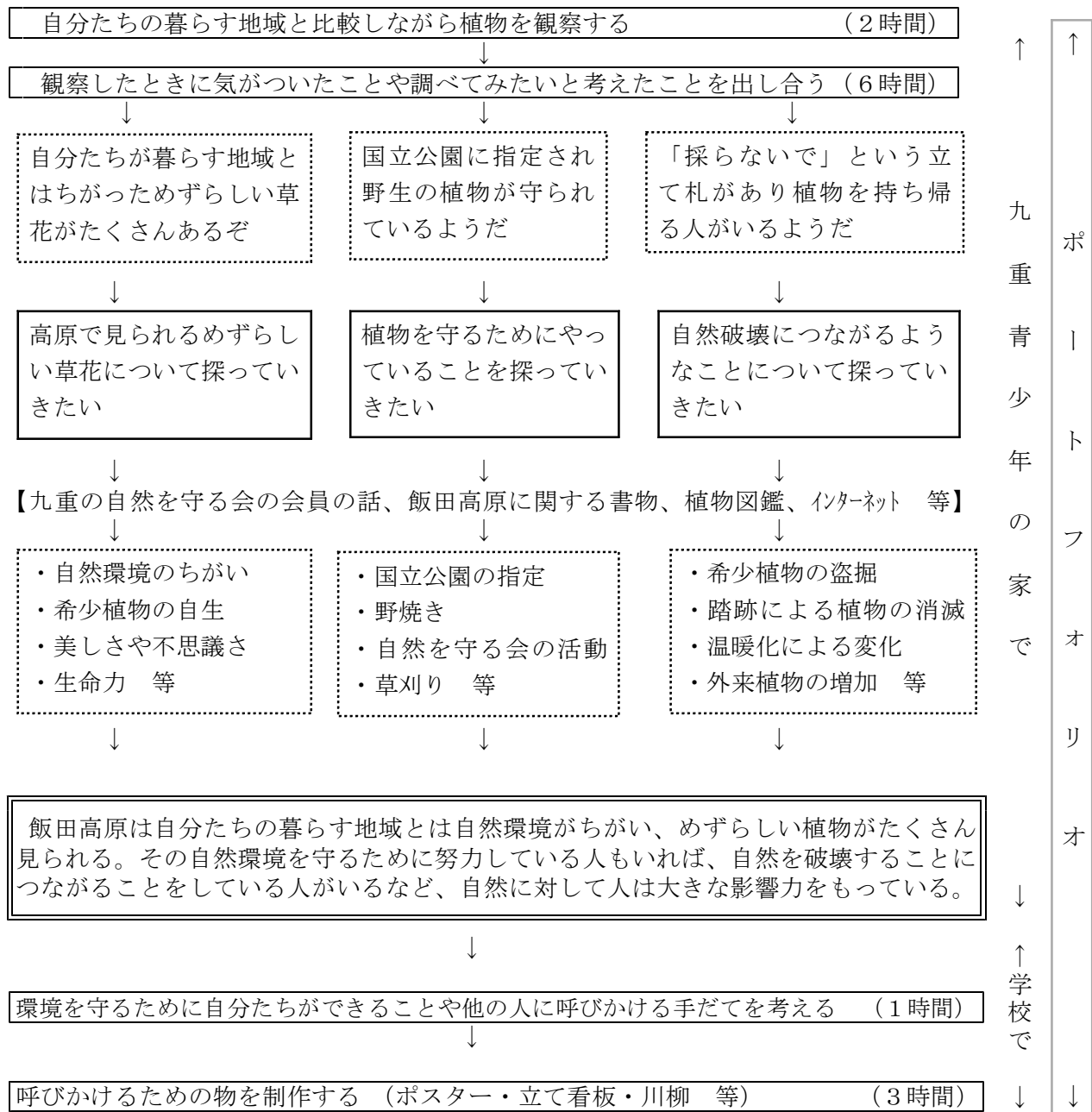
森林から湧き出た水が川になり自分たちの暮らす地域に流れてくることに関して感じたこと学んだことをふりかえり、自然環境を守るために自分ができようことや今後も探っていきたいことを考え、解決に向けて取り組もうとする。

日常生活の中で環境問題を自分のこととしてとらえ、自ら課題を見つけ、その課題を積極的に探求していかうとする。

秋の活動例『高原の植物を題材にして』(対象：小学校高学年・中学生向き)

1. **ねらい** 植物がそれぞれの環境に適したところに育つことを、飯田高原の環境と自分たちが暮らす地域の環境と比べることから、とらえることができる。
ヒゴタイを守り育てる人と採取する人がいることから、自然保護に人が大きく関わっていることに気づき、自分ができることを考えることができる。

2. **構想図** (全12時間) <九重青少年の家での活動 8時間>



3. 期待する変容の姿

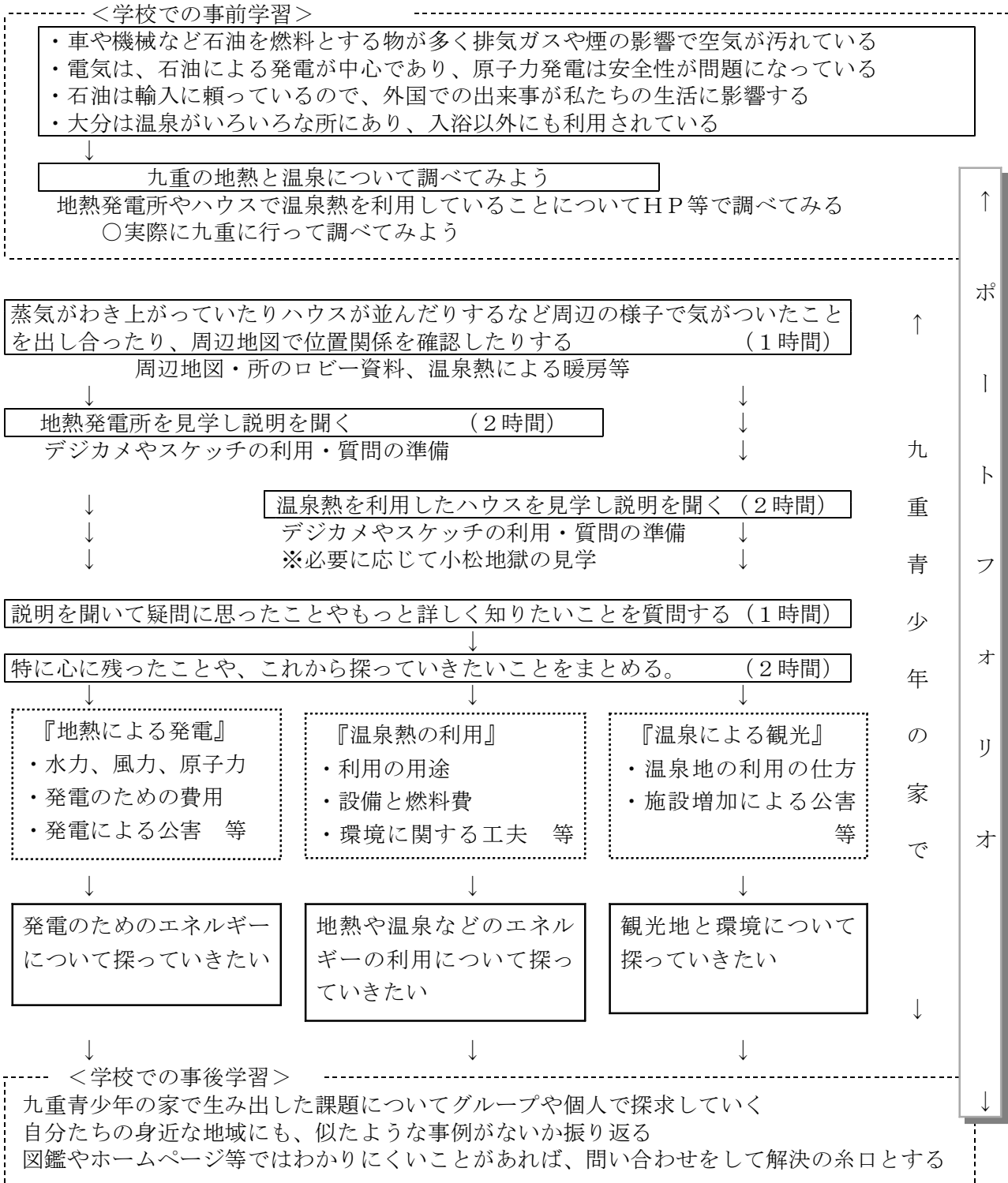
環境によって動植物の生態が違い、人は自然に対して大きな影響力を持っていることに関して感じたこと学んだことをふりかえり、自然環境を守るために自分ができること今後も探っていきたいことを考え、解決に向けて取り組もうとする。

日常生活の中で環境問題を自分のこととしてとらえ、自ら課題を見つけ、その課題を積極的に探求していこうとする。

冬の活動例『地熱と温泉を題材にして』（対象：小学校高学年・中学生）

1. **ねらい** 地熱や温泉などの資源を利用している様子を、見学したり話を聞いたりすることから環境の視点で自分なりの課題を生み出すことができる。

2. **構想図** （全14時間）＜九重青少年の家での活動 6時間＞



↑ ポートフォリオの家で

3. 期待する変容の姿

九重青少年の家での活動を通して、感じたこと、学んだことを振り返り、環境に関する自分の課題を生み出していく。そして、その課題に対して積極的に関わり、探求していく。また、この経験を生かして、日常の生活の中でも自ら課題を見つけ探求しようとする。